



国際ロータリー第2840地区 第6分區
藤岡ロータリークラブ

ガバナー公式訪問報告

藤岡ロータリークラブ
会長 竹越 正博
幹事 黒澤 欣一

2010年9月16日(木)、福田一良ガバナー公式訪問が、藤岡RC・藤岡北RC・藤岡南RC合同で、藤岡商工会議所において開催されました。

ガバナーご到着予定時刻の30分前から、懇談会出席者18名が玄関に待機致しました。やがて大手雅晶ガバナー補佐がお見えになり、そして福田一良ガバナーと町田庄吉地区幹事がご到着され、玄関前で記念撮影を行い、懇談会となりました。

懇談会では3RCの奉仕活動について報告を行い御指導頂きました。

例会は、藤岡RC竹越正博会長、藤岡北RC松浦章会長、藤岡南RC佐藤信行会長が、一緒に点鐘して始まりました。会長挨拶は3RC会長が順番に、それぞれの思いを込めて挨拶を行い、福田一良ガバナーの講話を拝聴致しました。また、藤岡RC井田仁一会員へ、ホームクラブ出席のみメイク無しで15年連続皆勤を達成したことに対し、表彰状を頂きました。

その後、福田一良ガバナーを中心に3RC全員で記念写真の撮影を行い、懇親会となりました。各クラブの会員からの質問に対して、丁寧なご指導をして頂き有意義な一日となりました。

初めて3RC合同のガバナー公式訪問を開催するにあたり、少し戸惑いもありましたが、3RCがなるべく公平に体験できるよう3RC会長・幹事で協議して準備致しました。3RC合同のガバナー公式訪問を経験して、会員それぞれの感想があるでしょうが、3RCの奉仕活動や問題等をお互いに理解し合い、3RC会員同士の絆が深まる良い機会であったとも思います。



ガバナー公式訪問記念例会





国際ロータリー第2840地区 第6分区

安中ロータリークラブ

ガバナー公式訪問報告

安中ロータリークラブ
会長 藤巻 康喜

9月21日、安中市並木苑で開かれました安中ロータリークラブ、碓氷安中ロータリークラブ合同例会に福田一良ガバナーをお迎えいたしました。

例会に先立ちまして約1時間の懇談会が設けられ、提出したクラブ現状報告書に基づいたクラブの活動と今後の方針などについていろいろとご指摘や助言をいただきました。

例会には福田一良ガバナー、町田庄吉地区幹事、大手雅晶ガバナー補佐、両クラブの会員のほかに新島学園インターアクト部長の秋山絵里夏さん、一年交換留学生のガレン・リチャード・ギビアン君、ローテックスの矢端名結さん、留学生のデールズ君が出席しました。

ご来訪者からそれぞれご挨拶をいただいた後で最後に福田ガバナーのスピーチをいただきました。

自己紹介に続いて、公式訪問のこれまでの経緯をお話いただきました。

第6分区の公式訪問はこれが最後であること、分区内の公式訪問はすべて合同例会で行えたこと、大手ガバナー補佐の尽力に心から感謝することのことでした。

今年度のレイ・クリンギンスミスRI会長の活動方針は「地域を育み・大地をつなぐ」です。地域のために貢献し世の中の役に立つことが奉仕の理想につながるとの考えです。

この活動を推し進めるために、行動方針として迅速、完結、団結、誠意、完成の5つの言葉呼び掛けたいとして締めくくられました。例会後に懇親会が行われ公式訪問は無事終了いたしました。





国際ロータリー第2840地区 第6分區

藤岡北ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

藤岡北ロータリークラブ

今回は、藤岡・藤岡南・藤岡北の3RC 合同の公式訪問でした。福田ガバナー記念講話の要旨を掲載いたします。貴重なお話をありがとうございました。

「前橋西ロータリークラブの会員であります、福田一良と申します。今回のガバナー訪問は 3 クラブ合同で開催させていただきました。インターアクトのメンバーや藤岡中央高校の校長先生にもご出席いただいております。どうぞ、よろしく願いいたします。

クラブ報告書を拝見しますと、今年度の地区目標を盛り込んだ内容になっており、皆様のご協力に感謝いたします。

レイ・クリングスミスRI会長による第一回目の講演会で、たいへん印象に残った話が二つありましたので、お話をさせていただきます。

まず一つ目はガバナーになると、お揃いのジャケットを着るのですが、それはたくさんの方が集まった中でも、同期のガバナーがすぐにわかるようにとの意図があるそうです。たいてい、黄色だったり青だったりとはっきりした色が多いのですが、今年度の色は赤紫色でした。レイ会長は、従来の発注方法を変えたところ、ジャケットの金額がなんと半額になったとのこと。従前どおりの方法を変えることで、よりよい結果をもたらすことができた、つまり、慣習の見直し、そして新しい伝統の創設。50年もの間、ロータリーに関わっているレイRI 会長だからできたことだと深い感銘を受けました。

二つ目は、毎年掲げられるRIのテーマについてです。今回の“地域を育み、大陸をつなぐ”は、初めてロータリアン以外に呼びかけたテーマであります。地域の活動に参加して、奉仕をなさいという内容です。奉仕活動を通して“ロータリー”を地域で広め、活動の意義を再認識してもらう。クラブの前向きな活動によって地域活性化が図れれば、新しい会員が増えることに繋がると考えます。10月に開催します地区大会のテーマを“世の中の役に立とう”としました。

最後にビチャイ・ラタクル元RI会長の有名な言葉をお話して終わりにしたいと思います。『なんのために奉仕するか。それは感動を求めて行くのである』という言葉です。職業奉仕を実践しながら“人のため”“社会のため”に役立とうではありませんか。

2012-13年度のRI会長に、日本人として3人目となる、2770地区(埼玉県)の田中 作次氏が推薦されましたことをご報告させていただいて、今日のわたしの話しを終わりにいたします。ご清聴、ありがとうございました。」



藤岡北・藤岡・藤岡南 3会長 いち・に・のさんで点鐘 松浦会長・渡辺幹事・深井会長エレクト

合同例会の様子



国際ロータリー第2840地区 第6分区

富岡中央ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

富岡中央ロータリークラブ
 会長 多胡 利大
 幹事 松本 勲

2010年9月15日(水)、当クラブの例会場でありますホテルアミューズ富岡におきまして、福田一良ガバナー公式訪問が行われました。今年度は富岡3RC合同公式訪問となりました。

合同公式訪問は初めての事でありとまどいもありましたが、富岡RCの小林会長・鈴木幹事にイニシアチブを取っていただき、大手ガバナー補佐との事前打ち合わせ、富岡3RCでの打ち合わせ等細部にわたり準備いたしました。

公式訪問例会前の懇談会におきましては富岡3RC会長、幹事、会長エレクト、地区役員・委員等16名が出席し、クラブ報告書に基づいての出席率について、会員増強等の要因などを中心に懇談いたしました。

例会は富岡3RC合同で総勢100名余りの人数で賑やかに行われ福田ガバナーの講話をお聴きしました。

その後記念撮影を行い引き続きクラブ協議会が行われました。

福田ガバナーには暖かいお人柄で会員からの質問等もひとつひとつ丁寧にご説明して頂き我々会員一同今後の活動に大変参考になりました。

最後に福田ガバナーをはじめ、大手ガバナー補佐、町田地区幹事には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。公式訪問の報告とさせていただきます。





国際ロータリー第2840地区 第6分區

碓氷安中ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

碓氷安中ロータリークラブ

日時：平成 22 年 9 月 21 日(火) AM11:30 ~PM2:30

場所：並木苑

秋晴れの日、福田一良ガバナー並びに町田庄吉地区幹事をお迎えして、我々のクラブの例会場となっている「並木苑」にて、ガバナー公式訪問が開催されました。

当日は、役員懇談会・例会・懇親会の順に公式訪問が行われました。役員懇談会は、ガバナーより、当クラブの目標や計画に対しての質問や、これからの活動の一助となる貴重なご意見をいただきました。

昼食後の例会では、ガバナーより、今年度RI及び地区テーマについて、ご自身の体験をふまえた講話を聞かせていただきました。例会終了後に、全員で記念写真を撮り、懇親家へと移りました。懇親会は、会員からの様々な質問や要望に対して、ガバナーがわかりやすい言葉で、丁寧にお答えいただき、改めてガバナーのお人柄がうかがわれるものとなりました。

今回は、安中ロータリークラブとの合同公式訪問ということで行われましたが、設営等に関して、特段支障なく開催できたのではないかと思います。

会員の皆さま、関係者の方々のご協力ありがとうございました。





国際ロータリー第2840地区 第6分區

藤岡南ロータリークラブ ガバナー公式訪問報告

藤岡南ロータリークラブ
 会長 佐藤 信行
 幹事 神子田 遙

藤岡 3RC 合同ガバナー公式訪問を初めて開催するにあたり、各クラブ会長・幹事が数回集まり、どのような例会にするか、藤岡クラブを中心に検討しました。

点鐘は 3RC 会長と一緒に鐘を打ち、会長挨拶は順番に 3RC 会長が行い、司会は藤岡 RC 幹事が担当致しました。

当日、ガバナーよりの方針、特に力説されていた3点について、当クラブの状況を報告致します。

① 会員増強

2人の会員増強に成功、会員数 17名となりました。

「是非、20人にしたい。」と、現在も努力中です。

② ロータリー財団への寄付

ポリオ撲滅運動 24ドルを含め、1人 124ドルの目標、年内に達成できる見込み。

③ 米山記念奨学会への寄付

普通寄付と特別寄付合わせて 1人 15,000円の目標、年内に達成できる見込み。

・カンボジア水事業

10周年記念事業として、カンボジア・アンチャンニ小学校の食堂とトイレを修復し、給水工事を行いました。

また、記念事業とは別に、カンボジア・シュムリアップ州の各村にある、壊れて放置されている井戸を修理・再生して、安全安心な浄水を貧困地域の人々に提供する事業を行いました。

11月7日～10日、5名の会員がカンボジアを訪問して、今まで手掛けてきた学校や井戸を見て回り、引き渡しを行って来ました。

少ない会員ながら、毎日のように連絡を取り合い、奉仕活動に励んでいます。

